

令和5年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価に関する報告書
(令和4年度事業対象)

令和5年(2023年)8月

飯山市教育委員会

目 次

I	点検・評価制度の概要	1
1	自己点検・評価の考え方	
2	点検評価の対象事業	
3	点検評価の方法	
II	点検評価の結果	2~4
1	教育委員会及び教育委員の活動	
	(1) 教育委員会及び教育委員の令和4年度開催実績	
	(2) その他の会議・活動	
2	教育委員会事務局の事務事業評価の結果	5~27

I 点検・評価制度の概要

1 自己点検・評価の考え方

平成19年(2007年)6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

教育行政の推進にあたり、その政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら点検・評価を行い、その結果を公表することは、政策立案を的確に行うとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要なことです。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和4年度の教育委員会事務事業について自己点検・評価を実施した結果をまとめたものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(訓条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする

2 点検評価の対象事業

点検・評価の対象は、原則として、教育委員会会議及び委員の活動、事務局が重点事業として取り組んだ主な事務事業としています。重点事業の目安として、飯山市総合計画の3か年実施計画に掲載(ハード500万円以上、ソフト100万円以上の2次経費+新規事業)及び、その他必要と認めるものとし、飯山市総合計画の重点施策項目により配列しました。

3 点検評価の方法

教育委員会会議及び委員の活動については年間の活動状況を報告し、事務事業については対象事業ごとに、取り組み内容及び結果、決算額、評価、今後の取り組み・課題等を掲載したものを報告します。

なお、評価にあたっては、飯山市総合計画、飯山市総合戦略、飯山市教育大綱に掲げる目標数値やコストとのバランスなどを勘案し、次の4区分の評価とします。

「順調」…優れた取組みが多く、十分成果が上がっている

「概ね順調」…優れた取組みがいくつかあり、成果は上がっている

「要検討」…一定の成果は上がっているが課題もあり、改善の必要がある

「要改善」…成果は十分上がっておらず、改善の余地が多く抜本的な見直しが必要

II 点検評価の結果

1 教育委員会及び教育委員の活動

(1) 教育委員会議の令和4年度開催実績

教育委員会議は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会を開催しており、令和4年度においては、次のとおり会議を開催し、審議を行いました。また、議決事項以外に新型コロナウイルス感染症対策についてなど、緊急性の高い行政課題全般について協議・報告を行いました。

○会議回数 13回、審議案件 28件

開催日	議決事項
4月26日	<ul style="list-style-type: none"> 飯山市図書館協議会委員の委嘱について 飯山市美術館運営協議会委員の委嘱について 飯山市ふるさと館運営協議会委員の委嘱について
5月24日	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進委員の委嘱について 通学区区域外就学の許可について 1件
6月27日	<ul style="list-style-type: none"> 通学区区域外就学の許可について 1件 飯山市民生委員推薦会委員の推薦について
7月26日	<ul style="list-style-type: none"> 通学区区域外就学の許可について 2件
8月25日	<ul style="list-style-type: none"> 飯山市富倉公民館地区館長の任命について
9月12日	議決事項なし
10月31日	<ul style="list-style-type: none"> 飯山市文化財保護審議会委員の委嘱について 通学区区域外通学の許可について 1件
11月22日	<ul style="list-style-type: none"> 通学区区域外通学の許可について 1件

12月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・飯山市公民館地区公民館長の任命について ・飯山市公民館専門部員の委嘱について ・通学区区域外通学の許可について 1件
1月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・飯山市美術館運営協議会委員の委嘱について ・通学区区域外就学の許可について 4件
2月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・通学区区域外就学の許可について 2件 ・令和5年度飯山市一般会計当初予算案(教育委員会関係)について
3月2日 (臨時会)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度飯山市立小中学校長の内申について
3月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・飯山市スポーツ推進委員の委嘱について ・令和4年度飯山市一般会計3月補正について ・通学区区域外就学の許可について 1件

(2) その他の会議・活動

◆ 総合教育会議

市長の招集により教育長・教育委員が出席し、飯山市の教育行政全般について、報告、情報共有および協議を実施した。

10月18日：飯山市教育大綱の進捗状況について

城北中学校区新統合小学校整備事業について ほか

3月28日：城北中学校区新統合小学校整備事業について

教育支援センターについて ほか

◆ 城北中学校区新統合小学校開校計画推進会議の設置

新統合小学校の開校に向けた取り組みを推進するため、城北中学校区新統合小学校開校計画推進会議を令和4年(2022年)4月15日に設置。本会議では、新統合小学校の開校に向けた「新統合小学校開校推進計画」を作成し、各種事業の計画・推進にかかる各種委員会等を統括し、推進上の課題解決を図る。

・推進会議：4月15日、5月11日、8月25日、12月28日、3月27日

計5回

・地域懇談会：11月28日(東小)、29日(戸狩小)、30日(常盤小)、

12月1日(泉台小)

計4回

◆ 新任校長・教頭・新規採用教員辞令交付式(4月)

◆ 小中学校入学式(4月)

- ◆ 県主幹指導主事学校訪問(5～6月・9～10月) 計5回
- ◆ 保育園・学校訪問：7月7日 木島保育園 7月12日 しろやま保育園
7月19日 東小学校 7月20日 城南中学校
- ◆ 市PTA連合会からの質問・要望(書面回答10月13日)
- ◆ 長野県市町村教育委員会研修総会(10月12日:オンライン開催 佐久市)
- ◆ 飯水地方教育委員会連絡協議会総会(12月19日:飯山市役所)
- ◆ 教育委員交代：西條三香教育委員(12月25日まで)
中村香織教育委員(1月4日～)
- ◆ 小中学校卒業式(3月)
- ◆ その他各種会議、大会、式典等への出席

2 教育委員会事務局の事務事業評価の結果一覧

No	重点施策名	事業名	評価	担当課
1	学力・体力向上事業の充実	中学校国際交流事業	要検討	子ども育成課
2		学力向上総合対策事業	概ね順調	子ども育成課
3		英語教育推進事業	順 調	子ども育成課
4	教育環境と教育施設の充実 及び検討	冬期学校スポーツ振興事業	概ね順調	子ども育成課
5		小学校施設整備事業	概ね順調	子ども育成課
6		中学校施設整備事業	概ね順調	子ども育成課
7		心の教室相談員設置事業	概ね順調	子ども育成課
8		特別支援教育支援員配置事業	概ね順調	子ども育成課
9		小中学校図書館図書整備事業	順 調	子ども育成課
10		総合教育推進事業	順 調	子ども育成課
11		不登校児童生徒支援事業	概ね順調	子ども育成課
12		小中学校 I C T 教育推進事業	概ね順調	子ども育成課
13		育英資金貸付事業	概ね順調	子ども育成課
14		統合型校務支援システム導入事業	概ね順調	子ども育成課
15		新たな小学校づくり事業	概ね順調	子ども育成課
16		平和学習事業	概ね順調	子ども育成課
17		学校保健特別対策事業	順 調	子ども育成課
18	地域で支える教育環境の推進	中学校部活動支援事業	概ね順調	子ども育成課
19	生涯学習意識の高揚・生涯 学習環境の充実	飯山雪国大学事業	概ね順調	市民学習支援課
20		地区館事業	概ね順調	市民学習支援課
21	図書館の充実	読書普及事業	概ね順調	市民学習支援課
22		図書館環境整備事業	順 調	市民学習支援課
23	伝統文化の尊重・継承	文化的景観保護推進事業	概ね順調	市民学習支援課
24	芸術文化の振興	丸山邦雄顕彰事業	順 調	市民学習支援課
25		企画展開催事業	概ね順調	文化交流課
26		芸術文化振興事業	概ね順調	文化交流課
27		ふるさと学習推進事業	概ね順調	市民学習支援課
28	スポーツやレクリエーションの振興	スポーツ振興事業	概ね順調	スポーツ推進室
29		ジュニアスポーツ振興事業	概ね順調	スポーツ推進室
30		スポーツツーリズム推進事業	概ね順調	スポーツ推進室

No	重点施策名	事業名	評価	担当課	
31	スポーツ関連施設の維持・充実・強化	体育施設整備事業	概ね順調	スポーツ推進室	
32		第82回国民スポーツ大会開催事業	概ね順調	スポーツ推進室	
33	人権意識の向上	人権同和教育推進事業	概ね順調	人権政策課	
34	男女共同参画社会づくりの推進	男女共同参画推進事業	概ね順調	人権政策課	
35	子育て支援の推進	児童手当給付事業	順 調	子ども育成課	
36		児童扶養手当等給付事業	順 調	子ども育成課	
37		延長保育委託事業	順 調	子ども育成課	
38		通園バス運行事業	概ね順調	子ども育成課	
39		児童クラブ等運営事業	概ね順調	子ども育成課	
40		児童福祉施設整備事業	概ね順調	子ども育成課	
41		飯山市子ども館等運営事業	順 調	子ども育成課	
42		幼児教育無償化事業	順 調	子ども育成課	
43		私立幼稚園運営支援事業	順 調	子ども育成課	
44		ひとり親世帯等生活支援特別給付金給付事業	順 調	子ども育成課	
45		城北中学校区統合小学校児童クラブ整備事業	順 調	子ども育成課	
46		地域で支える子育て環境整備の推進	子ども家庭課総合支援拠点設置事業	概ね順調	子ども育成課

事業名・担当課	No. 1	中学校国際交流事業	子ども育成課	
事業概要	平成13年から中国深圳外国語学校と第一中学校そして飯山市教育委員会が交流を継続。また平成26年に豪州バサーストハイキャンパス校と姉妹校協定を締結し、市内中学校との交流を通し生徒の視野を広げ、国際化社会に対応できる人材育成を目指す。両校と相互に訪問、ホームステイや授業参加などで交流を行う。			
取組内容及び成果	・バサースト校（豪）との交流は新型コロナウイルス感染症拡大のため事業中止。			
決算額	0千円	評価	要検討	
今後の取組・課題等	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により事業の実施が見送りとなった。今後の交流が継続できるよう、実施方法等を検討する必要がある。			

事業名・担当課	No. 2	学力向上総合対策事業	子ども育成課	
事業概要	市と校長会が連携し飯山市学力向上事業（第5次学力向上事業（2018～22）の5年次）の取組みを継続的に推進し、小中高連携による学力向上の取組、研修会等を実施、市費加配の学力向上支援員を小中学校に配置。			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上支援員の配置 飯山・泉台・常盤・戸狩・東・木島・城南中・城北中 各1名 ・中間教室支援員（心の相談員）の配置 秋津・飯山・城北中 各1名 ・授業改善指導を信州大学教育学部教授へ依頼し、指導を実施。 学力向上夏期研修会 7/27（オンラインで実施） その後、学年会、教科会を各会場で実施 ・児童生徒の学力向上のためのテスト・研究会を実施。 ・総合学力調査(4月・12月)と意識調査(4月) 小学生2教科・中学生5教科 ・学力向上委員会 4/25 6/29 9/1 2/28 ・小中学校学年会・教科会 6/15 7/27 10/31 11/14 <p>総合学力調査では各学校・学級・個人ごとの学力の傾向や、学習意識の把握ができるとともに、全国平均との比較や苦手分野の分析ができ、学校での指導に役立った。</p>			
決算額	16,564千円	評価	概ね順調	
今後の取組・課題等	数学・英語を中心に学力標準テストの結果分析を効果的に活用するとともに、中高連携、信州大学の指導、各種職員研修を充実させ、教師力・授業力の向上を図りたい。			

事業名・担当課	No. 3	英語教育推進事業	子ども育成課
事業概要	英語教育の充実、児童生徒の英語力向上のため、英語指導主事の雇用、小中学校の英語指導助手（ALT）配置、中学校の英検受験補助事業、GTEC（スコア型4技能テスト）実施事業を行った。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学生の英語力及び英語コミュニケーション能力の向上を図るため、5名の外国語指導助手（ALT）を任用。うち2名が8月に任期満了で入れ替え。 ・ALT・英語指導主事を雇用し、小中学生の国際感覚と英語コミュニケーション能力の向上につながった。 ・ALT報酬 12,478千円 セイ・ライト（H30.2～）飯山小、戸狩小、東小 シャーロット・オアリ（R3.11～）木島小、秋津小、飯山小 スコット・ワイット（R1.8～R4.8）城南中 ジュリエット・スワン（H30.8～R4.8）城北中 ジャネル・マヨ（R4.8～）城北中 ・ALT派遣業務委託（2名） 9,570千円 レイモン・バラカンス（R3.8～）泉台小、常盤小、木島小 ロバート・ゴルビ・オスキー（R4.8～）城南中 ・GTEC実施委託 816千円 		
決算額	25,560 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	ALTおよび小学校教員の英語授業指導力の向上が望まれる。英検補助は令和3年度の実施を最終とし、GTECへ移行する。飯山市の子どもたちが生きた英語に触れ、確かな英語力を獲得できるよう取組を継続する。		

事業名・担当課	No. 4	冬期学校スポーツ振興事業	子ども育成課
事業概要	飯山市の特徴的なスポーツであるスキーの振興を図るため、小学校2回、中学校1回のアルペンスキー教室を実施。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期スキー振興のため、小中学校でスキー教室を実施。 ・スキー教室指導員委託料 1,730千円 ・リフト使用料（教職員、保護者・指導者）・バス借上げ料 879千円 スキー教室の実施により、冬季スポーツの振興が図られた。小学校は2回、中学校は1回実施。		
決算額	2,678 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	ふるさと教育の一環として、クロスカントリースキー同様、引き続きスキーの普及に努めたい。		

事業名・担当課	No. 5	小学校施設整備事業	子ども育成課	
事業概要	小学校施設の老朽箇所の修繕を行い備品等を整備した。			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校7校における老朽箇所の工事、委託及び備品整備を行う。 常盤小学校グラウンドトイレ扉修繕工事 198千円 泉台小学校調理室ダクト換気扇修繕工事 141千円 東小学校北校舎テレビ不点調査・修理 53千円 常盤小学校エレベーター棟外壁周り修繕工事 638千円 戸狩小学校屋根転落防止設備設置工事 682千円 他 小学校7校の小破修繕、備品整備、消耗品購入等を実施 <p>小学校施設の老朽化が進む中、急を要するところから順次修繕工事や備品更新を行った。</p>			
決算額	10,648 千円	評価	概ね順調	
今後の取組・課題等	老朽化による修繕を単年度で全て実施することは難しいため、長寿命化計画に基づき計画的に進める必要がある。			

事業名・担当課	No. 6	中学校施設整備事業	子ども育成課	
事業概要	城北中学校格技室の屋根改修工事、図書室のエアコン更新、城南中学校の照明等の設置及び更新、大判プリンター等の大型備品の整備を行った。			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校2校における老朽箇所の修繕工事、委託及び備品整備を行った。 城北中学校格技室照明LED化工事 11,940千円 城南中学校大体育館照明設備工事 385千円 城北中学校FF式石油暖房機更新工事 633千円 大判プリンター・デジタル印刷機購入 417千円 城北中学校自動火災報知設備修繕工事 1,089千円 城北中学校図書室空調設備更新工事 1,408千円 城南中学校照明修繕工事 435千円 他、中学校2校における、営繕に関わる修繕費、備品費等 <p>中学校施設の老朽化が進む中、緊急的なところから順次修繕工事等を行った。</p>			
決算額	19,293 千円	評価	概ね順調	
今後の取組・課題等	老朽化による修繕を単年度で全て実施することは難しいため、長寿命化計画に基づき計画的な施設修繕が必要。			

事業名・担当課	No. 7	心の教室相談員設置事業	子ども育成課	
事業概要	城南・城北中の各学校に生徒からの相談を受ける「心の教室」を設置し、相談員(2名)を雇用。			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の生徒や、悩みストレスを抱えた生徒に対して両中学校各1名の相談員を配置し、相談業務を行う。 教室に入れない生徒が相談員と話して状況が改善するなど、校内の居場所の一つとして心の教室が役立っている。			
決算額	2,931 千円	評価	概ね順調	
今後の取組・課題等	「心の相談員」「不登校対策支援員」等のそれぞれの役割と連携を明確化しながら、当市ならではの「不登校防止、早期対応」の有効な体制やシステム構築、学校外機関との連携についても検討していく必要がある。			

事業名・担当課	No. 8	特別支援教育支援員配置事業	子ども育成課	
事業概要	日常生活や学習に支援や配慮が必要な児童生徒に対応する支援教員及び介助員を小中学校に配置する。			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や学習に支援の必要な児童生徒に対応する支援教員及び介助員を配置し、学習環境の向上を図った。 城南中4名・飯山小2名 秋津小・泉台小・常盤小・戸狩小・木島小・城北中 各1名			
決算額	13,555 千円	評価	概ね順調	
今後の取組・課題等	インクルーシブ教育、障がいのある児童生徒への合理的配慮等を備えた特別支援教育の実現のためには、地域ぐるみの支援体制の構築が望まれる。飯山小学校、城南中学校の通級指導教室(県費)や飯山養護学校との連携を推進するとともに、障がいのある子どもや保護者の多様なニーズに応えるためにも支援員や介助員の配置は今後も必要である。			

事業名・担当課	No. 9	小中学校図書館図書整備事業	子ども育成課	
事業概要	学校へ予算配当し、小中学校の図書館図書の充実を図る。			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校図書館図書標準」に基づいて、学校図書館図書を購入し図書館の充実に努めた。 			
決算額	3,999 千円	評価	順調	
今後の取組・課題等	令和7年4月開校の城北中学校区新統合小学校の開校も考慮しつつ計画的な図書の購入と、古い図書の廃棄や整理を進め、利用したくなる図書館づくりが必要。			

事業名・担当課	No. 10	総合教育推進事業	子ども育成課
事業概要	総合的な学習や飯山らしい特色ある教育の推進のための、学校教育へのサポートを実施する。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・米づくり学習の運営 各学校で米づくり学習を通じて地域との交流とふるさと学習への体験につながった。 米づくり管理謝礼・消耗品等 350千円 ・ラフティング体験学習委託 590千円 小学5年生を対象に、千曲川でのラフティング体験学習を委託。 千曲川を学び感じる経験を5年生が体験できた。 ・総合学習交付金 総合的な学習の時間で、学校が創意工夫を生かし特色ある教育活動を行うための補助を実施。 小学校3～6年生・中学校全学年を対象 1クラス 10,000円を上限に補助金を支給 650千円 ・飯山市校長会交付金 886千円 ・学校、学級ごとに特色ある総合的な学習をすすめる交付金と、校長会への交付金が多様な教育活動に活用された。 		
決算額	2,480千円	評価	順調
今後の取組・課題等	米づくり学習やコミュニティスクールでは地域との協働のあり方、継続性が課題となる。ラフティング体験や総合学習、飯山らしい教育の推進により、ふるさとを知り、その魅力を感じとることを目指す。また、中学校においても、ふるさと学習及び総合学習を充実させたい。		

事業名・担当課	No. 11	不登校児童生徒支援事業	子ども育成課
事業概要	長期の不登校生及びその家庭への支援・指導を行うため、両中学校へ不登校対策支援員（2名）を雇用した。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校生及びその家庭への支援・指導を行うため、不登校対策支援員2名を雇用した。城南中・城北中 各1名 ・飯山市不登校対策委員会を、年2回（6/13、2/28）開催し、基本的考え方の徹底と相互の役割や連絡・連携体制の確認を図った。 		
決算額	2,519千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	長期不登校生だけでなく不登校傾向の児童生徒が増加しており、その原因の見極めと適切な支援が必要。今後設置される教育支援センターと連携を図り、子どもの居場所づくりに取組んでいく。		

事業名・担当課	No. 12	小中学校 I C T 教育推進事業	子ども育成課	
事業概要	国が進めるGIGAスクール構想の実現のため、児童生徒1人に1台の器機を整備。学校のICT活用研究委員会とも連携し、更なる I C T 教育推進に向け取り組みを進めている。			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ GIGAスクール構想により配備したタブレット端末を活用し更なるICT教育を推進するための環境整備を行った。 <p>小中学校タブレット等保守委託 764千円 小中学校学習者用タブレットPC購入 (155台) 4,554千円 校務用PC購入 (39台) 5,698千円 小学校用電子黒板購入 (31台) 13,027千円 中学校用電子黒板購入 (16台) 6,741千円 タブレット用オプションレンズ購入 (1,400個) 770千円 小学校タブレット用学習基本ソフト購入 182千円</p> <p>小中学校の普通教室へ新たに電子黒板整備を行うなど、ICT機器の更なる活用に向けた環境整備を進めた。</p>			
決算額	34,694 千円	評 価	概ね順調	
今後の取組・課題等	機器整備については概ね整ったが、今後の定期的な機器の更新及びデジタル教科書の導入等も検討していきたい。			

事業名・担当課	No. 13	育英資金貸付事業	子ども育成課	
事業概要	将来長野県の小中学校の教員を目指す大学生への無利子の奨学金貸付制度のため、育英基金に積み立てを行う。			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育英基金の積み立てを実施 ・ 令和4年度貸与対象者 12名 月額40千円×12月×12名 ・ 令和4年度 償還対象者 10名 <p>【制度概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学等を卒業後6ヶ月後から、貸付期間の2.5倍の期間で返済 返済金額 (短期大学60ヶ月、大学120ヶ月：月額：16,000円) ・ 大学卒業後5年以内に長野県義務教育諸学校等の正規教員に採用され、3年間教員のその職についたときは、償還額の1/3を上限として免除。 <p>【令和4年度末基金現在高】 45,384千円</p>			
決算額	1,006 千円	評 価	概ね順調	
今後の取組・課題等	教員を目指す学生に限らず、一般の大学生に対する貸付も検討が必要。			

事業名・担当課	No. 14	総合型校務支援システム導入事業	子ども育成課
事業概要	学校の業務改善、働き方改革につなげるため、総合型校務支援システム（市町村自治振興組合）を運営する経費		
取組内容及び成果	・長野県小中学校総合型校務支援システムにかかる負担金 4,272千円 教職員の業務効率化を図ることができた。		
決算額	4,271 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	総合型校務支援システムの活用には、共通したルール設定、協働性をもたらす役割分担、マニュアル作成等、の整備が必要である。		

事業名・担当課	No. 15	新たな小学校づくり事業	子ども育成課
事業概要	令和7年4月開校に向け、城北中学校区新統合小学校の実施設計及び既存施設の解体工事を行った。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年4月開校に向け、城北中学校区新統合小学校の整備を行う。 城北中学校区新統合小学校実施設計業務 21,995千円 旧第三中学校体育館解体撤去工事 31,471千円 旧第三中学校体育館アスベスト等調査業務 886千円 その他委託業務 2件 既存施設の解体が完了し、新校舎の実施設計も概ね完了し、新統合小学校施設の整備に向け詳細が定まった。		
決算額	54,730 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	令和7年4月開校に向けて、令和5年度から建設工事を進める。資材等を含めた物価上昇及び、資機材の納期遅延が続く情勢下であり、今後の市場情勢が大きな課題。		

事業名・担当課	No. 16	平和学習事業	子ども育成課
事業概要	満蒙開拓団の授業（中学3年生）等、平和の大切さについて中学生が学習した。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> 中学3年生対象の満蒙開拓団の学習（城南中・城北中9/2） 阿智村満蒙開拓平和記念館を訪問する予定だったが、新型コロナの影響により三沢亜紀事務長による講演会を実施した。 新型コロナウイルスの影響により、広島平和記念式典への派遣は見合わせた。 副読本「ユートピアをめざして〈丸山邦雄物語〉」の作成。 		
決算額	2,801 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	副読本を活用するなどして、満州引揚にかかわる丸山邦雄氏の業績等も授業に取り込むなど、生徒が主体的に関わる飯山らしい平和学習をさらに工夫していく必要がある。		

事業名・担当課	No. 17	学校保健特別対策事業	子ども育成課	
事業概要	新型コロナウイルスによる学校再開に伴い、感染症対策や学習保障、また学校教育活動継続のための支援。			
取組内容及び成果	<p>【小学校】 1,037千円</p> <p>・新型コロナウイルスによる感染症対策や学習保障、感染症対策等の学校教育活動継続支援のため各校15万円配当し、網戸や加湿器、CO2モニター等学校毎に感染症対策のために使用した。</p> <p>【中学校】 368千円</p> <p>・新型コロナウイルスによる感染症対策や学習保障のために城南中22万円、城北中15万円を配当し、スピーカーや電気掃除機等学校毎に感染症対策のために使用した。</p>			
決算額	1,441 千円	評価	順調	
今後の取組・課題等	新型コロナウイルス感染対策による支出があった場合の対応の検討。			

事業名・担当課	No. 18	中学校部活動支援事業	子ども育成課	
事業概要	教職員の働き方改革の一環として、県の補助（補助率:2/3）を受けて中学校の部活動の外部指導者を部活動指導員として任命する。			
取組内容及び成果	<p>・中学校の外部指導者を部活指導員として委嘱し、競技力の向上と顧問教員の時間外勤務縮減を図った。</p> <p>・城南（卓球部、バレー部、スキー部）、城北（剣道部、陸上部、卓球部）の計6名</p>			
決算額	2,143 千円	評価	概ね順調	
今後の取組・課題等	他に職を持っている方への依頼のため、人選の難しさや活動時間の確保は課題である。また、教職員の働き方改革への検証や、地域での部活動に代わる体制検討の道筋など、課題は多い。			

事業名・担当課	No. 19	飯山雪国大学事業	市民学習支援課	
事業概要	講座やセミナーの開催を含めた、公民館の学習活動である雪国大学の運営を行う事業です。			
取組内容及び成果	<p>・夏休み、春休み体験教室、女性セミナー、各種講演会、各種成人講座等を開催、新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せはじめ多くの事業が実施でき、市民の生涯学習の一環とすることができた。</p> <p>夏休み体験教室 8教室 135名参加 春休み体験教室 7教室 105名参加 成人講座 15講座 127名参加 地元学講座 6講座 320名参加 地元学講座冊子印刷製本業務委託 1,958千円 10/14 文化講演会「夢と冒険 モンベル7つのミッション」 97名 11/19 文化講演会「簡単ちょい足し健康法」 25名 6/4 教養講座（女性セミナー） 「洗濯王子が教える！「5つ」の洗濯新常識」 55名 地区館との共催事業 7事業</p>			
決算額	3,282 千円	評価	概ね順調	
今後の取組・課題等	市民ニーズの把握と時節の話題を取り込み、郷土愛が育まれる事業に取り組む。			

事業名・担当課	No. 20	地区館事業	市民学習支援課	
事業概要	各地区公民館での地域活性化及び各種講座・講演会の開催を行う事業です。			
取組内容及び成果	<p>地区館独自行事、講座の実施 飯山市公民館との共催事業の実施 敬老会、慰霊法要等他団体との共催事業の実施 各種研修会等への参加 各種サークル活動支援 公民館報の編集、発行</p> <p>・各地区毎に多くの参加者がある。広く募集する事業には、地区外の方も参加している。</p>			
決算額	1,224 千円	評価	概ね順調	
今後の取組・課題等	各地区の特性を活かした講座や事業に取り組み、地域づくりの一助となるよう取り組む。			

事業名・担当課	No. 21	読書普及事業	市民学習支援課	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料の購入。 ・読書の普及活動の推進。 			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書数138,810冊（うち笹本文庫16,224冊）前年比1,837冊増。 おはなしひろば（29回、延41組104人） 絵本とわらべうたの会（38回、154組316人参加） ブックスタート（令和4年度末時点で絵本を104人に渡し済み） セカンドブック（出生祝い）（令和4年度末時点で絵本を107人に渡し済み） 親と子の絵本講座（4回開催、延べ11組参加） 保育園貸出（180冊ずつ年4回入替） 図書館まつり（学びのエリア秋まつり）の開催 出張講座等へ講師として司書派遣 SNS（インスタグラム）等も活用した情報発信等 			
決算額	4,190 千円	評価	概ね順調	
今後の取組・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・公共図書館として適宜な情報発信と資料等の収集保存。 			

事業名・担当課	No. 22	図書館環境整備事業	市民学習支援課	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・照明LED化工事 			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の学習室、多目的室等の照明をLED化し、施設の環境を整備した。 図書館利用者の快適性の向上や施設の維持管理の負担軽減に寄与。 			
決算額	3,674 千円	評価	順調	
今後の取組・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な維持管理 			

事業名・担当課	No. 23	丸山邦雄顕彰事業	市民学習支援課	
事業概要	旧満州国からの日本人引揚げに尽力した、富倉出身の丸山邦雄氏を顕彰するためにR3年度に設置された顕彰碑の説明看板を設置した。			
取組内容及び成果	説明看板製作			
決算額	887 千円	評価	順調	
今後の取組・課題等	市民をはじめ多くの方々に丸山氏の偉業を伝えていきたい。			

事業名・担当課	No. 24	文化的景観保護推進事業	市民学習支援課	
事業概要	国の重要文化的景観に選定された小菅を中心としたエリアについて、地域住民と連携を図りながら、景観の保護及び活用のための整備を進める。			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・重要構成要素である建物修理への補助 1件 ・石垣の積み直し実践学習会 ・小菅の護摩堂修理工事報告書刊行 ・参道南遺構群試掘調査 ・重要文化的景観「小菅の里及び小菅山」保存整備検討委員会の開催 			
決算額	2,675 千円	評価	概ね順調	
今後の取組・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に策定した「整備計画書」を基に今後の保存と活用に向けた整備を進めていく。少子高齢化が進む小菅区において、多くの文化遺産を維持・活用していく道すじを検討している。 ・市は、地域住民が文化財の指定などの規制と自らの生活が共存していけるよう、地元との連携を密にし、個々の事案に対し相談業務や情報提供を引き続き行っていく。 			

事業名・担当課	No. 25	企画展開催事業	文化交流課	
事業概要	年間に企画展2回を開催し、幅広い美術に触れる機会を提供する。また、企画展作家や郷土の特色を活かしたワークショップなどを開催する。			
取組内容及び成果	<p>○企画展「没後50年佐藤武造展 郷土に愛された作品たち」(7/9～8/27) 開催 個人等20カ所から90点を借用し美術館所蔵作品30点と合わせて120点を展示。郷土の画家の画業をあらためて顕彰した。 会期中(7/23)「学芸員によるギャラリートークとスケッチブック鑑賞会を開催し約30名が参加。 入館者数：968人</p> <p>○企画展「紙宮 和紙作家 森田千晶展」(9/3～11/20) 開催 「和紙の仕事大賞」(H17)で大賞を受賞した森田千晶氏(埼玉県坂戸市出身在住)の作品展を開催。照明デザインや空間音楽、映像の各専門家のほか、飯山和紙研究会の協力を得て五感に訴える現代的な展示が実現した。来館者の反応は年齢層を問わず好評であった。様々な美術作品の鑑賞機会を求められる美術館として、特に現代美術作品の展示の必要性を再認識することができた。 期間中(9/23)作家を講師としたワークショップ「透かし和紙をすく」を開催、県内外から12名が参加。 入館者数：2,806人</p>			
決算額	4,089 千円	評価	概ね順調	
今後の取組・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土出身の美術家に固執せず、当市で紹介することがふさわしい現代美術など様々なジャンルの作品を取り上げていく。 ・企画展に足を運んでもらうための工夫やPRの強化が必要。 			

事業名・担当課	No. 26	芸術文化振興事業	文化交流課	
事業概要	芸術文化を楽しむ風土の醸成や、日常的な活動及び市内外の交流・にぎわい活動を推進する文化交流館の運営、並びに芸術文化団体等が開催する事業の支援（補助）、幼児期から芸術文化に触れる機会を提供する。			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の実施 多様なジャンル（ピアノ、三味線、声楽リサイタル、ライブなど7事業）を企画し、市民を中心に幅広い来場者に提供した。質の高い音楽やにぎわい企画などを広範に提供でき、多くの来場者の期待に応える事業ができた。新型コロナ影響はあったが来場者も回復傾向を見せた。 ・芸術文化月間（4団体で事業実施） 芸術文化市民団体が開催する事業に対し支援（補助）した。新型コロナの感染拡大により団体の活動自体が制限され、参加団体が4団体にとどまった。 ・「ゆかいなコンサート」（会場：文化交流館） 園児たちが普段はなかなか訪れる機会のない公共施設を訪れ、芸術文化体験の入口となった。（園児119名及び保育士25名保護者24名参加） 			
決算額	8,038 千円	評価	概ね順調	
今後の取組・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い年齢層が館に気軽に訪れるような多様なジャンルを提供し事業展開を図るとともに、その公演に興味のある層に確実に情報を伝えるべく宣伝活動に注力する。 ・若者層が芸術文化に触れる機会や活動の場の提供、コロナにより活動や発表に制限を受けていた市内芸術団体の活動支援に取り組む。 			

事業名・担当課	No. 27	ふるさと学習推進事業	市民学習支援課	
事業概要	飯山市の郷土に関する歴史、文化、自然などに関する一般展示、学習会企画展などを行い、飯山を学び、また、郷土愛を育む取組を推進する。			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展の開催 4/16-6/12 写真展 こころのふるさと飯山（来館者1,090名） 7/2-8/21 北信濃飯山の祭り（来館者652名） 9/17-10/30 飯山の商いと暮らし（来館者2,587名） 11/19-1/29 いいやまの食文化（来館者1,248名） 2/11-3/19 城下町ひな街道ひな人形展（来館者963名） ・体験教室（勾玉作り、サンドアート、組紐作り、数珠玉作り等） （参加者計253名） ・出張講座、館内学習他 （参加者：市内190名、市外695名、セカンドスクール340名 計1,225名） 			
決算額	767 千円	評価	概ね順調	
今後の取組・課題等	より魅力ある企画展や学習会などを企画し、市内外の大勢の人に「飯山」を知ってもらおうと同時に、飯山の大切な文化を後世に残していく。			

事業名・担当課	No. 28	スポーツ振興事業	スポーツ推進室
事業概要	市スポーツ協会及びスポーツ関係団体、大会実行委員会等を中心に、誰もが気軽に楽しめるスポーツの環境を整備するため、各種教室や大会の開催、スポーツ選手の育成、強化の支援を行う。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体及びスポーツ大会への支援 5,584千円 スポーツ団体の活動を支援することで市のスポーツの振興が図られている。 市民プール運営【32日間、入場者6,625人】 夏場の健康や体力向上、友人、家族などで楽しむ場が提供できた。 第49回市駅伝大会【正規、オープン含む21チーム参加】 新型コロナ対策として、規模縮小により針湖池を周遊するコースにて実施 全国スポーツ大会出場選手激励金【個人39、団体8】 995千円 スキーのみならず、毎年多くの種目で全国で活躍する選手も増え、選手に対する期待感とスポーツに対する関心も高まっている。 		
決算額	7,593 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	・年少人口の減少と高齢人口の増加が進む現状を見据え、地域及び大会関係者との協議を経る中で、持続性の有る大会運営が求められる		

事業名・担当課	No. 29	ジュニアスポーツ振興事業	スポーツ推進室
事業概要	市内の各種ジュニアスポーツ大会開催の支援とジュニアスキー活動に対する支援を行う。		
取組内容及び成果	<p>5/15ジュニア陸上大会（161名参加） 7/18ジュニアクロスカントリー大会（145名参加） 8/28ジュニア水泳大会（47名参加） 10/29、30サマージャンプ大会（92名参加） 11/13ジュニア駅伝大会（44チーム） 3/11市民レクリエーションスキー大会 市民スキーフェスティバル（雪不足による中止）</p> <ul style="list-style-type: none"> 飯山市ジュニアスキー育成連絡協議会への支援 ジュニアスキー専任コーチ、コース整備等委託 <p>地の利を生かしたスキー振興はジュニア育成の協議会でしっかり運用され、全国から世界に向けた選手の輩出に寄与している。また、多様化するスポーツに携わる選手に良い影響を与えている。</p>		
決算額	9,304 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	<ul style="list-style-type: none"> スキーを軸とする、各種スポーツへの幼少期から取り組める環境の整備。 人口減少に伴い、競技人口の減少・指導者の確保維持が課題。 		

事業名・担当課	No. 30	スポーツツーリズム推進事業	スポーツ推進室
事業概要	スポーツ資源と観光産業を融合したツーリズム事業		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会開催を通じ、交流人口の拡大等の推進を図る。 菜の花ゲートボール大会（中止） 21千円 菜の花マレットゴルフ大会（中止） 北信州ハーフマラソン大会（中止） 10/16チームタクカップ2022（127名参加） 1,000千円 <p>新型コロナの影響により大半は中止となったが、タクカップは感染症対策を講じて開催され、有名選手によるトークショーも行われ、多くの観客が訪れた。</p>		
決算額	1,021 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	観光産業に寄与するスポーツ大会として、観光関係者との情報共有と連携が重要。		

事業名・担当課	No. 31	体育施設整備事業	スポーツ推進室
事業概要	体育施設の維持修繕や改修により、施設利用者の安全確保と利便性の向上を進める。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市民体育館雨漏り調査業務委託 3,398千円 ・市営飯山シャンツェ転倒防護板等修繕工事 14,784千円 ・飯山市民プール流水プールモーター更新工事 11,968千円 ・屋外スポーツ施設長寿命化計画策定業務委託 4,466千円 <p>施設の老朽化が進み、修繕が追い付かない状況にあるが、施設利用者への安全確保を優先し、利用団体の要望等を踏まえ、改修や更新に順次努めている。</p>		
決算額	38,393 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・危険度や不便さのある施設を優先し、計画的に整備を進める ・体育施設のLED化 		

事業名・担当課	No. 32	第82回国民スポーツ大会開催事業	スポーツ推進室
事業概要	2028年に行われる冬季大会のアルペン、クロスカントリー、ジャンプの各スキー競技と初めて当市で行うカヌースプリント競技について、開催準備と市内出場選手を育成する。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・カヌー選手育成・強化補助 490千円 ・競技用カヌー購入補助 2,679千円 <p>令和4年度にカヌースポーツ少年団が設立され、20名が加入し、開催予定地となる北竜湖を拠点に練習を行っている。また、競技用カヌーを準備し、今後の地元選手育成の基盤を整備した。</p>		
決算額	3,169 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・カヌースプリント競技において、専門指導員の確保 ・ジャンプ台の改修と各種車両又は設備等の設置及び更新 ・準備委員会の設立 		

事業名・担当課	No. 33	人権同和教育推進事業	人権政策課
事業概要	人権同和教育を推進するための各種事業を実施 市民大会の開催、副読本「あけぼの」の配布、人権講座等の実施		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・第50回差別のない明るい飯山市を築く市民大会では、本大会に合わせて募集した市内小中学校児童生徒の作文、ポスター、標語作品が436作品寄せられ、学校現場での取組みに広がりが見られた。また、人権作文については、文集にして大会実行委員、市内小中学校等へ配布をし、人権意識の啓発に繋げる取り組みができた。 また、第50回の節目の年として、過去50年の記録冊子「市民大会のあゆみ」と映像を配信することができた。 ・副読本「あけぼの」を市内小中学校へ指導手引と活用手引を含めて配布し、人権教育の推進に努めた。計604冊 ・いいやま人権福祉センターで開催した地域住民交流講座には延べ161名に参加いただき、人権政策及び相談窓口の拠点として当センターの活用と情報発信ができた。 		
決算額	675 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・地区、集落における人権学習会開催等の機会を通じて様々な人権課題について市民への啓発・周知を行っていく。 ・第4次男女共同参画計画の目標に沿って取り組みを進める。 		

事業名・担当課	No. 34	男女共同参画推進事業	人権政策課
事業概要	第4次飯山市男女共同参画計画に基づき、男女共同参画社会づくりを推進するための経費。 6月には男女共同参週間に合わせ講演会を開催。 また、随時男女共同参画の意識向上を目的とした講座を開催する。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・6月25日にお茶の水女子大学理事・副学長の石井クンツ昌子さんを招いて講演会を開催し56名に聴講いただいた。 ・7月20日に文化交流館なちゅらで開催した人権同和・企業人権教育講座では女性の人権をテーマに漫画家：段丹映子さんを講師に迎え、講演を行った。116名 ・市報へ第4次男女共同参画計画について要旨を掲載し男女共同参画社会の実現に向けての目標を提示し、市民に男女共同参画社会づくりについて考える機会の提供ができた。 ・地区・集落学習会の開催により男女共同参画に関する市民への啓発ができた。(5地区、8区で実施) 		
決算額	251 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画週間に合わせて開催している講演会については今後も例年どおり開催していく。 ・第4次男女共同参画計画の目標に沿って取り組みを進める。 ・コロナ禍の影響で地区・集落での学習会が減少している。今後コロナ禍が軽減される中で学習会の増を図りたい。 		

事業名・担当課	No. 35	児童手当給付事業	子ども育成課	
事業概要	中学3年生までの児童を対象に、国の制度に基づき児童手当の支給を行う。			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校3年生までの児童を対象に児童手当を支給。支給対象者延べ20,192名 月額：0歳～3歳未満 15,000円 3歳～小学校修了前 10,000円（第3子以降 15,000円） 中学生 10,000円 特例給付(所得制限) 5,000円 所得上限限度額を超える場合は手当等の支給なし ・ 児童手当現況届受付（6月～9月） 児童手当施行規則の一部改正により、令和4年度分の現況届から公簿等で支給要件に係る情報等について確認できる場合には提出を省略。 公簿等で確認できない受給者については、現況届の提出を求めた。 現況届の省略世帯数 923世帯 現況届該当世帯数 一般 27世帯 施設（里親）2世帯 ・ 子どもの育ちを社会全体で応援する仕組みによって、児童の養育者を支援できた。 			
決算額	224,460千円	評価	順調	
今後の取組・課題等	・ 国の制度に基づき引き続き事業を実施し、保護者の経済的支援を行うことにより、児童の健全育成を図る。			

事業名・担当課	No. 36	児童扶養手当等給付事業	子ども育成課	
事業概要	18才未満の児童を養育するひとり親に対し、国の制度に基づき児童扶養手当の支給を行う。			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 18歳未満の子がいるひとり親を対象として月額43,070円の児童扶養手当を支給（所得額、児童数により変動あり）。 多子加算額（第2子5,090円→所得に応じて最大10,160円、第3子以降3,050円→所得に応じて最大6,090円）。 また、20歳未満の障害児を養育する親に特別児童扶養手当（月額34,900円又は52,400円、県が支給）を支給する手続きを行う。 ・ 児童扶養手当システム使用契約 契約者：㈱電算（4/1） 支払額：1,551,000円（システム保守・使用料） ・ 児童扶養手当、特別児童扶養手当現況届（於：第1委員会室）（8/22、23） ・ 児童扶養手当システム改修（公金受取口座対応）業務委託 契約者：㈱電算 支払額：385,000円（3/29） ・ 児童扶養手当受給資格者数…146名（3月末現在） 支給対象者116名 全部停止者…（事由別）本人所得19名、扶養義務者所得11名 ・ ひとり親世帯及び障害児を養育する世帯の生活の安定と自立に貢献している。 			
決算額	55,816千円	評価	順調	
今後の取組・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の制度に基づき引き続き事業を実施し、ひとり親家庭等の児童の福祉向上を図る。 ・ 受給者に対し、児童扶養手当のみでなく各種のひとり親世帯への支援制度等についても周知を図る。 			

事業名・担当課	No. 37	延長保育委託事業	子ども育成課	
事業概要	保育時間を超える延長保育を実施。 延長保育は市内公立全園及び私立保育園で実施。（事業費はめぐみ保育園への委託料）			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・保育時間の延長に対する需要に応じ、保育所8園にて延長保育を実施し、児童福祉の向上に努める。 ・実施保育所 公立：7園（全園）私立：1園（めぐみ） ・保育時間を延長することで、子育て中の共働き世帯等を支援している。 			
決算額	5,568 千円	評 価	順調	
今後の取組・課題等	共働き世帯、ひとり親世帯及び核家族化の進行等により、保育標準認定（11時間保育）が増えており、延長保育も含め対応する保育士の確保が年々困難となっている。			

事業名・担当課	No. 38	通園バス運行事業	子ども育成課	
事業概要	保育園の統廃合により、遠距離の保育園に通園が必要となった世帯の支援のため、通園バスを運行。			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の統廃合により、遠距離の保育園に通園する児童の交通手段確保のため、通園バスの運行を委託。 ・運行台数 しるやま保育園…1台（斑尾）、いずみだい保育園…1台（外様） 瑞穂保育園…1台（瑞穂中央）、とがり保育園…1台（北瑞） ・遠距離通園する児童の交通手段及び安全が確保されている。 			
決算額	8,506 千円	評 価	概ね順調	
今後の取組・課題等	今後も引き続き事業を継続し、遠距離通園世帯の負担軽減を図る。また、通園バスについても計画的に更新を行う。添乗する保育士の確保も年々困難となっている。			

事業名・担当課	No. 39	児童クラブ等運営事業	子ども育成課
事業概要	児童に健全な遊び場を与え、健康増進と情操の向上を図るため、児童センター・児童館を設置。また、放課後保護者が不在となる小学生の健全育成を図るため、児童クラブを開設。		
取組内容及び成果	<p>【児童館(センター)運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童に健全な遊び場を与え、健康増進と情操の向上を図るため、登録児童及び一般来館児童を対象に児童館・児童センターを開設し、運営を飯山市社会福祉協議会に委託している。 登録児童：帰宅時家族が留守の小学生 自由来館：18歳までの児童 社会福祉協議会児童センター等運営委員会(於:市福祉センター) (6/23) <p>【児童クラブ運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に、常盤児童クラブが常盤小学校校内に開設され、運営はこれまでのNPO法人に代わって社協への委託となった。 市内の児童クラブはすべて校内に設置され、支援員の指導により放課後、家に保護者がいない児童の健全育成を図ることができた。 		
決算額	41,995 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き事業を実施し、児童の健全育成を図る。施設については、利用児童の増により施設が手狭となっている。 市内の4小学校(泉台、常盤、東、戸狩)を統合し令和7年4月に新統合小学校を新設する。それに伴い、4小学校区の児童クラブを統合し新統合小学校に併設するため、児童クラブ検討委員会を立ち上げ、施設設備や児童クラブ利用計画、利用規程などの検討を進めている。 		

事業名・担当課	No. 40	児童福祉施設整備事業	子ども育成課
事業概要	保育所、児童センター、児童館等の施設改修や修繕、備品購入を行う。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> 児童福祉施設に必要な施設修繕工事、物品購入等を実施。 主な工事等 <ul style="list-style-type: none"> 瑞穂保育園プール塗替え工事 契約者: (有)関本屋 契約日: 6/1 支払額: 693千円 瑞穂保育園立木伐採業務委託 契約者: (有)吉越商事 契約日: 7/1 支払額: 1,540千円 木島保育園ほふく室床改修工事 契約者: 伊東建設(株) 契約日: 7/27 支払額: 1,925千円 飯山市勤労青少年ホーム屋根雪止復旧工事 契約者: (有)高橋建材 契約日: 7/22 支払額: 1,089千円 しらかば保育園立木伐採業務委託 契約者: (株)藤巻建設 契約日: 9/16 支払額: 1,870千円 保育園医務室空調設備設置工事 契約者: (有)高澤 契約日: 1/27 支払額: 1,397千円 保育環境の向上及び施設の適切な維持管理が図られた。 		
決算額	11,367 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	全体的に施設の老朽化が進行しているなかで、大規模修繕が必要な施設が増えており、今後の施設整備のあり方等を検討する必要がある。特に増加する保育園の未満児への施設的な対応が課題であり、今後の保育園のあり方(統合)を検討する中で順次整備を図っていく必要がある。		

事業名・担当課	No. 41	飯山市子ども館等運営事業	子ども育成課
事業概要	子育てに関する複合施設である飯山市子ども館「きらら」の運営及び各種子育て支援施策を行う。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関する複合施設である飯山市子ども館の運営等、各種子育て支援施策を実施する。 ・飯山市子ども館「きらら」 【機能】 児童センター機能、放課後児童クラブ機能、子育て支援センター機能、病後児保育機能、放課後等デイサービス機能 ・ファミリーサポートセンター事業 依頼会員：28名 提供会員：24名 延べ活動回数：50回 ・北部子育て支援センターの運営 青少年ホーム内に設置しており、運営は飯山市社会福祉協議会に委託している。 ・主な工事 <ul style="list-style-type: none"> ・飯山市子ども館敷地内舗装工事 請負人：北信建設興業㈱ 契約日：6/13 支払額：1,045千円 ・各種子育て支援事業の実施により、幅広い年齢の児童の健全育成が図られるほか、保護者の就労支援に資することができる。 		
決算額	24,898 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	土日・長期休み中等、魅力あるイベント等を企画し、さらに利用者増を図る（特に飯山小学校以外の児童の利用促進）。また相談機能についても、機能強化を図る。		

事業名・担当課	No. 42	幼児教育無償化事業	子ども育成課
事業概要	令和元年10月1日から、国の制度による幼児教育・保育の無償化が開始され、飯山市においても3歳以上児の保育料、給食費の無償化を行う。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年10月1日より、国の制度改正により幼児教育・保育の無償化が開始され、私立幼稚園の保育料を無償化し、実費徴収することとされた3歳以上児の副食費についても、飯山市独自に無償化し、子育て世帯の負担軽減を図った。 ・施設等利用給付 463千円（対象者24名） ・給食費補助金 4,551千円（対象者105名） ・物価高騰対応給食費補助 350千円（対象者 2園） 		
決算額	6,004 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	国の制度に基づく保育料の無償化を行うとともに、無償化対象外とされた給食費（副食費）についても、飯山市独自に無償化を行い保護者負担の軽減を図った。		

事業名・担当課	No. 43	私立幼稚園運営支援事業	子ども育成課	
事業概要	子ども子育て支援新制度へ移行した市内私立幼稚園に対し、教育・保育を提供するために必要な給付を行った。また、市内私立幼稚園に勤める幼稚園教諭等の処遇の改善を図るために要する経費について、国の制度に基づき補助金の支給を行う。			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度より新制度へ移行した私立幼稚園に対する施設型給付費等の支払いを行う。 施設型給付費等負担金 47,956千円（施設利用者延べ598名） 			
決算額	48,576千円	評価	順調	
今後の取組・課題等	引き続き事業を実施し、安定した幼稚園運営が行われることで市内の幼児教育へのニーズに対応する。			

事業名・担当課	No. 44	ひとり親世帯等生活支援特別給付金給付事業	子ども育成課	
事業概要	新型コロナウイルス感染症の影響により、心労や金銭的負担を抱えている低所得の子育て世帯に生活支援特別給付金を支給。			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、心労や金銭的負担を抱えている低所得の子育て世帯に臨時特別給付金を支給する。 〈ひとり親世帯分対象者〉 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年4月分児童扶養手当受給者分：114件（児童166人） 公的年金等受給者分：3件（児童3人） 支給金額：17,000千円（国：8,500千円、市上乗せ分：8,500千円） 〈その他世帯分対象者〉 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年4月分の児童手当または特別児童扶養手当受給者（かつ住民税非課税世帯）：72件（児童129人） 令和4年度住民税非課税世帯分：6件（児童7人） 家計急変者分：3件（児童7人） 支給金額：14,300千円（国：7,150千円、市上乗せ分：7,150千円） 児童扶養手当システム改修（子育て世帯生活支援臨時特別給付金）業務委託（6/9） 契約者：㈱電算 支払額：665,500円 児童扶養手当システム改修（低所得の子育て世帯臨時特別給付金）業務委託（6/27） 契約者：電算 支払額：470,000円 			
決算額	39,910千円	評価	順調	
今後の取組・課題等	令和4年度限りの事業			

事業名・担当課	No. 45	城北中学校区統合小学校児童クラブ整備事業	子ども育成課	
事業概要	学校統合に伴う新たな放課後児童の居場所づくりのため、放課後児童クラブを整備する。			
取組内容及び成果	<p>城北中学校区統合小学校の開校に併せて、新たな児童クラブを設置するための事業を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討委員会を設置し、基本設計に基づき施設機能・規模等を決定し、実施設計を行った。 <p>統合小学校及び放課後児童クラブ実施設計（前払い） 1,005千円</p>			
決算額	1,005 千円	評価	順調	
今後の取組・課題等	<p>新統合小学校に新たな児童クラブを併設するため、事業を推進していく必要がある。</p> <p>検討委員会において、機能や規模、運営規程等について検討し、地区懇談会において住民や保護者等の意見を聞きながら整備を進める必要がある。</p>			

事業名・担当課	No. 46	子ども家庭課総合支援拠点設置事業	子ども育成課	
事業概要	子ども家庭支援員を配置し、幼児から18歳までの児童に関する各種相談を受け付け、支援を行う。			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども家庭支援員を配置し、幼児から18歳までの児童に関する各種相談を受け付け、支援を行う。 虐待対応専門員（相談室長兼務）1名、支援員2名、相談員1名 新規相談件数 117件（養護10、保健2、障害11、育成74、その他20） 延べ相談訪問件数 914件 ・ 県中央児童相談所巡回児童相談（女性センター未来）7/29 ・ そだちネットワーク 9/6、11/7、1/12 ・ 特別支援教育連携協議会 5/19 ・ 県家庭児童相談員連絡協議会総会・研修会 5/27 ・ 子ども家庭支援員による相談・支援により、育児の不安や悩みを軽減し、適切な児童養育へと指導している。 			
決算額	11,694 千円	評価	概ね順調	
今後の取組・課題等	<p>今後も引き続き事業を継続し、児童の養育等福祉の向上を図る。</p> <p>年々相談件数が増えており、支援員、相談員の負担が増えている状況である。</p> <p>また、要保護児童対策協議会（児童虐待対策）についても、関係者との連携強化及び機能強化を図る必要がある。</p>			